

破壊強度学

レポート課題3

何らかの非線形関数で表現される限界状態関数を定義し、確率変数の平均値、標準偏差を与えた上で、設計点と感度、信頼性指標の計算を試みよ。また、部分安全係数と信頼性指標の関係を調べよ。設定する非線形関数は、はり問題など、実際の物理モデルであることが望ましい(絶対ではない)。R Package LimitState利用することが便利。不明点は、酒井までメールで問い合わせること。

提出要領

- ・ 締切期限 2 週間：
レポート課題番号，提出日，専攻名，学生証番号，氏名を忘れずに
- ・ 提出場所：sakai@fml.t.u-tokyo.ac.jp宛て添付ファイルで提出
Subject: 破壊強度学レポート